

教科	国語	単元名	お話のさくしゃになろう
----	----	-----	-------------

本時のねらい

自作の絵と文に音読を録音し、話を聞き返し、よりよい表現を見つける。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

タブレットPCを用いて何度も書き直したり読み直したりすることができる。

デジタル絵本作りに取り組むことを通して自分の想像した物語を思い通りに表現することができる。

表現することの楽しさや喜びにふれ、言語活動への意欲を高めることができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・大型モニター
- ・タブレットPC
- ・アプリケーション (our story2)
- ・ブラウザ (kidpix)
- ・授業支援アプリ (オクリンク)

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○今日のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて 読みかえて、お話をよりよくしよう</div>	
展開 (30分)	○教員の作った話を読み返し、よりよい表現を見つける。 ・一文が長い、主語が違う、順序が正しくない。 ○自分の作った話を読み返し、間違いを正したり、語と語や文と文とのつながりを確かめたりしているかを確認する。 ・赤えんぴつで直すようにする。 ・より詳しくなるよう付け加える。 ○ペアで作品の交流をし、よりよくする表現やストーリーのよいところを伝え合う。	録音することを通して客観的に話を聞くことができる。 録音したものがあるので、多くの人に何度も聞いてもらうことができる。
まとめ (10分)	○ふりかえりをする。 ・オクリンクで話のワークシートを撮影し、よりよくするためにどの部分を変えたのか発表する ○次回予告をする。	オクリンクを使用し、児童それぞれが変更を加えたポイントを見ることができる。

1人1台端末を活用した活動の様子



教員の作った話を全体で推敲し、読み返すポイントを確認している場面



自分の作ったデジタル絵本を読み返している場面



ペアになり友だちの話を聞いて、よりよい表現を見つけようとしている場面

児童生徒の反応や変容

- ・デジタル絵本を作成する活動を取り入れたことで、授業に意欲的に取り組むことができた。
- ・紙での推敲よりも、音声にしたものを聞き直す方が間違いに気づいて直したり、言葉を付け足したりしていた。
- ・本単元の学びや気付きを踏まえて、自分から新しいデジタル絵本を作ってきた児童がいた。
- ・家で録音することができるので、緊張せず、子どもらしい声で絵本づくりを進めることができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・タブレットを用いてデジタル絵本を作成することで、子どもたちは大変意欲的に取り組むことができた。はじめは難しそうと言っていたが、毎回少しずつ絵本ができていくことから、「今日は何ができるかな。」と楽しみにしながら作成していた。
- ・音声を取り込むことから、聞き返しながらかんじながら言葉を探していた。